

2012年4月3日(火)
株式会社リクルート・旅行ディビジョン
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD GW海外ツアー問合せ概況

2012GW海外ツアー、問合せ数は前年比 22%増加。
最多の問合せ先はパリ。増加率ではシンガポールが躍進。
日程は 2 極化、「出発分散」するも「帰国集中」の予想。

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルート・旅行ディビジョン内、センター長・稲垣昌宏)は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの e メールでの問合せの実績を集計し、2012 ゴールデンウィーク(GW)期間の海外旅行マーケットを考察した。

<骨子要約>

1. 問合せ数前年比は22%増・・・P2
→全国平均で前年比122%。主要出発地別では大阪発が前年比128%と活発。
2. GWの人気旅行先・・・P3、4
→行き先方面別ではアジアと南北アメリカが好調。
→問合せ数の多さでは1位パリ、2位はオアフ島(ハワイ)、3位はソウル。
→前年比で問合せシェアが増加した旅行先は、1位シンガポール、2位グアム、3位台北、4位バンコクなど近距離が上位。シンガポールは前年比4.5倍の問合せ数。
3. GW海外ツアーの平均日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P4、5
→最多は4日間、次いで8日間と2極化。日程は前年比で平均6.2日→5.9日に減少。
→出発希望日は分散化するも、帰国希望日は連休後半に人気集中。

【本件に関するお問合せ先】

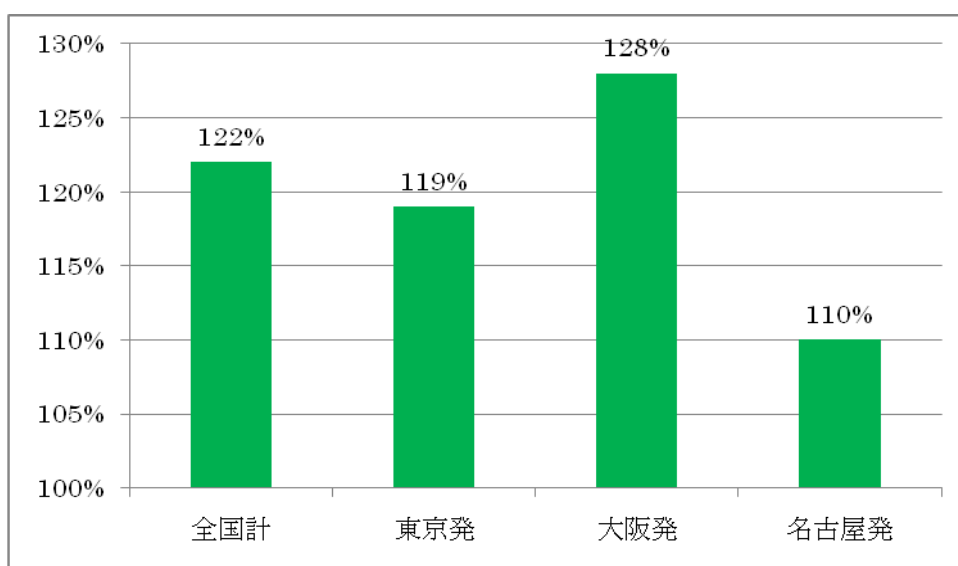
https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

1. GWの海外旅行問合せ数は前年比22%増 ～大阪発が特に好調～

2012GW期間(2012年4月28日～5月6日が含まれる旅行)のeメール新規問合せ数(1月1日～3月20日までの問合せを集計)は、前年比(2011年4月29日～2011年5月8日が含まれる旅行)で全国平均122%。主要出発地別では大阪発海外ツアーの問合せ数が前年比128%と活発な動き(データ1)。

また、東京発の中でも、羽田出発確約ツアーに限ると前年比約197%と問合せ数がほぼ倍増となっている。東京発は全体の約71%のシェア(データ2)。

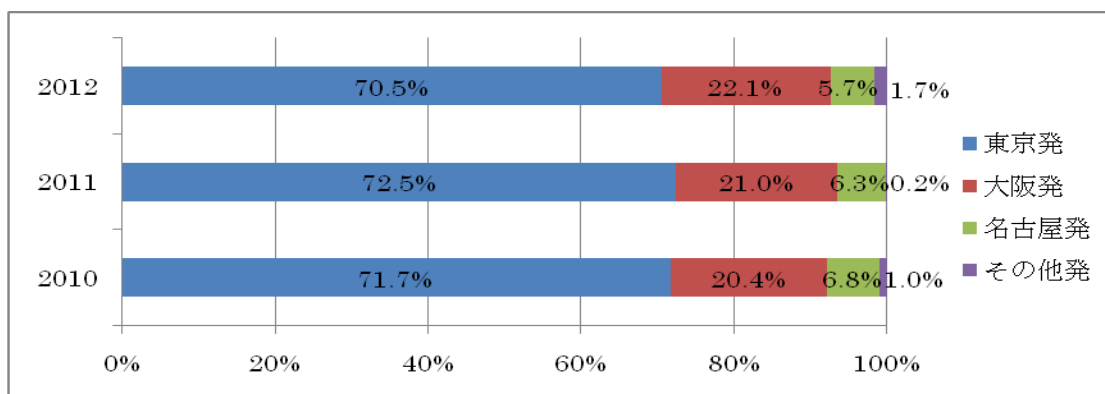
■データ1:2012GW期間の新規海外旅行問合せ数(前年比)



※1 全国計、各地発とも、前年eメール問合せ数を100%としたときの、2012年の問合せ数を%で表示。東京発は成田発・羽田発の合計。大阪発は関西発・伊丹発の合計。全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地(福岡、札幌など)を含む。

※2 GW期間の定義は2012年は4月28日～5月6日までを旅行期間に含む旅行、2011年は4月29日～5月8日を旅行期間に含む旅行、2010年は4月29日～5月9日を旅行期間に含む旅行。すべて同じ年の1月1日～3月20日までに発生した問合せを集計。

■データ2:問合せの出発地別の構成比(2010～2012年比較)



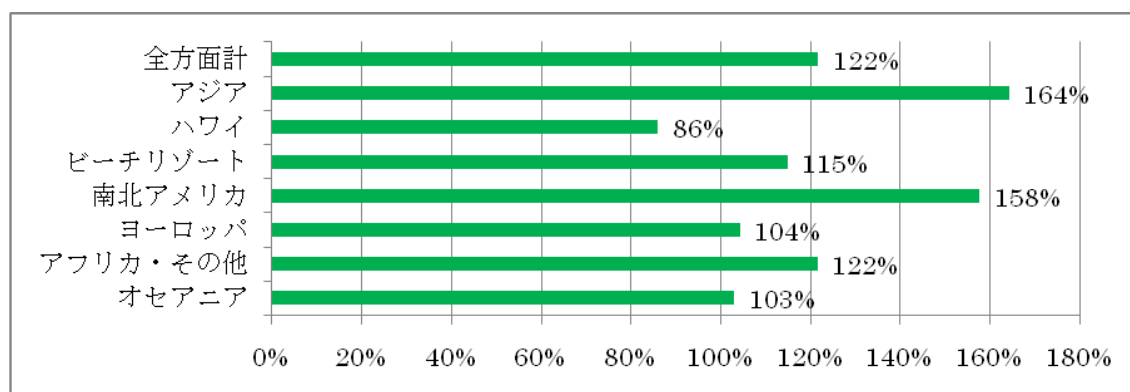
※3 データ抽出の定義はデータ1と同様(以下、データ3～8も同様)。

2. GWツアーの人気旅行先 ～アジアと南北アメリカが好調～

2012GW期間で、エイビーロードにおいて問合せの多い方面はアジア、南北アメリカが平均を上回る伸び(データ3)。人気海外旅行先は、前年トップのオアフ島(ハワイ)と入れ替わってパリが1位を獲得、以下、2位にオアフ島(ハワイ)、3位にソウル、4位にバルセロナ(スペイン)。トップ10で前年と違う行き先は台北、バンコク、グアムの近場が2010年ぶりにカムバックした(データ4)が、これは後述する4日間ツアー人気と関連しそう。

問合せ数の増加率では、1位が前年比約4.5倍の問合せを集めてシンガポール、2位にグアム、3位に台北、4位バンコクと近距離が上位を占めた(データ5)。

■データ3: 2012GW方面別問合せ前年比



※4 方面分類はエイビーロード WEB サイト定義による。

■データ4: GW期間の問合せが多い海外旅行先 TOP10 (2010～2012年比較)

順位	2012年問合せ旅行先	シェア	順位	2011年問合せ旅行先	シェア	順位	2010年問合せ旅行先	シェア
1	パリ	4.5%	1	オアフ島	5.6%	1	バリ島(インドネシア)	4.9%
2	オアフ島	4.1%	2	パリ	4.7%	2	パリ	4.1%
3	ソウル	4.1%	3	バリ島(インドネシア)	4.5%	3	ソウル	3.8%
4	バルセロナ(スペイン)	3.3%	4	ローマ	3.5%	4	シェムリアブ(カンボジア)	3.5%
5	台北	3.2%	5	バルセロナ(スペイン)	3.1%	5	オアフ島	3.4%
6	バンコク	2.8%	6	ソウル	2.9%	6	バンコク	3.1%
7	ローマ	2.7%	7	イスタンブール(トルコ)	2.8%	7	ホーチミン(ベトナム)	2.9%
8	バリ島(インドネシア)	2.5%	8	ホーチミン(ベトナム)	2.1%	8	台北	2.8%
9	グアム	2.2%	9	フィレンツェ(イタリア)	2.0%	9	ローマ	2.2%
10	イスタンブール(トルコ)	2.1%	10	シェムリアブ(カンボジア)	2.0%	10	グアム	2.1%

※5 2012年2位オアフ島のシェアは4.14%、ソウルのシェアは4.07%。2011年の9位フィレンツェ(イタリア)のシェアは2.01%、10位シェムリアブ(カンボジア)のシェアは2.00%。

■データ5：2012GW期間の問合せで送信数を伸ばした旅行先TOP10（前年比）

順位	2012年問合せ旅行先	前年同時期比問合せシェア伸び率
1	シンガポール	449.3%
2	グアム	359.5%
3	台北	212.3%
4	バンコク	203.6%
5	ミュンヘン(ドイツ)	172.7%
6	プーケット(タイ)	169.7%
7	ソウル	163.0%
8	マチュピチュ(ペルー)	156.3%
9	ジャイプール(インド)	154.7%
10	ロサンゼルス	145.9%

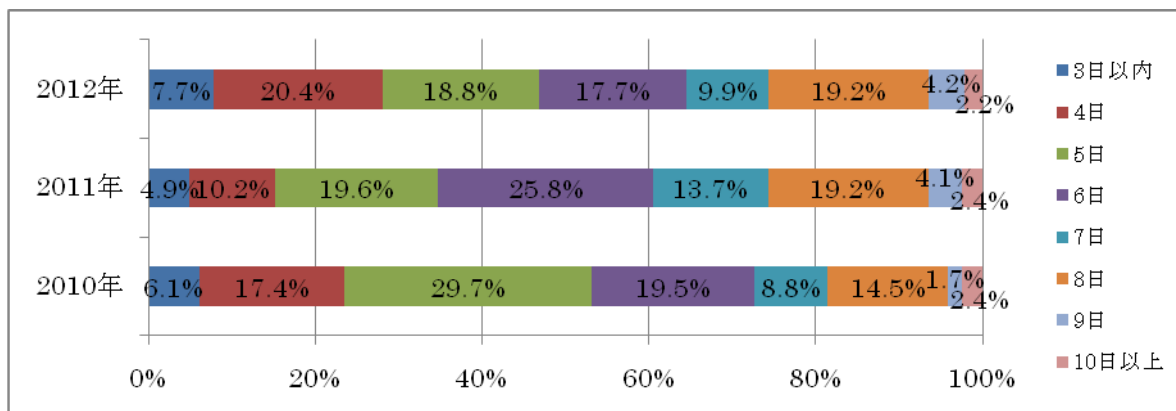
※6 2012年と2011年のGW期間を比較して、問合せ数の増加率が大きかった上位10旅行先。ランキングの対象は、2012GW、2011GW両期間において問合せがあり、かつ、2011年において、シェアが0.4%以上あった上位64の旅行先。

3. GWツアーの日程、希望する出発日・帰国日

～平均日数は前年比0.3日減少、4日間が最多で、帰国希望が連休後半に集中～

エイビーロードで問合せのあったツアー日程に関しては、2011年では6日間が最多、2010年では5日間が最多だったが、2012年では4日間が最多で、次いで8日間と2極化の傾向にある(データ6)。5日以内の問合せ計が2010年よりは少なく、平均旅行日数としては5.9日と、2010年の5.7日より多かった。出発希望日で最多は4月28日の連休初日であるが、2番目に多いのは連休入り直前の4月27日となっている。帰着希望日で最多は5月6日の連休最終日が24.2%、以下、5月5日→4日→3日→2日とカレンダーの並び順を遡る日程で人気である。

■データ6：GWツアー日数別問合せシェア(2010～2012年比較)



■データ7: GWツアー問合せ平均日数(2010~2012年比較)

年	2012年	2011年	2010年
平均日数	5.9日	6.2日	5.7日

■データ8: 2012GWツアー問合せでの希望出発日・帰国日

順位	希望した出発日	出発日 問合せシェア	希望した帰国日	帰国日 希望シェア
1	2012年4月28日	19.9%	2012年5月6日	24.2%
2	2012年4月27日	16.2%	2012年5月5日	20.5%
3	2012年5月3日	16.0%	2012年5月4日	13.6%
4	2012年5月2日	11.2%	2012年5月3日	10.1%
5	2012年4月29日	8.5%	2012年5月2日	6.8%

<総評・解説> インターネット問合せは定着へ。大阪発がけん引、日数は2極化

2012年のGWツアー予約問合せは、全体では前年比122%と堅調な推移。昨年も今年も1月1日から3月20日までに発生した問合せを集計しているため、前年データも震災影響は軽微であるが、前々年の2010年比では全出発地計で162%になることから、海外旅行のインターネット問合せが年々定着してきた様子がうかがえる。出発地別では多くのLCC(ローコストキャリア)の乗り入れなどが話題の大阪発が市場をけん引している様子だ。

方面としては、カレンダーの日並びの悪さと円高を反映してか、アジアと南北アメリカが平均以上の伸びを見せた。平均日数では今年よりもカレンダーの日並びに恵まれた昨年よりは短期化し、問合せで最多の日程が「4日間」ツアーというのも特徴的であったが、2番目に多い日程が「8日間」ツアーということで、日数は2極化した。結果、平均の旅行日数は5.9日と昨年比ではマイナス0.3日であったが、2010年の平均5.7日より0.2日上回った。

旅先も日程の2極化を反映してか、最も問合せの多い旅行先がパリ、4位にスペインのバルセロナもランクインした一方、台北、バンコク、グアムが2010年以来のトップ10に返り咲き、ソウルもシェアを伸ばした。昨年からの人気爆発のシンガポールの問合せ数の増加は前年比約4.5倍と驚異的である。他に伸び率上位のバンコク・プーケットは政治不安や洪水被害からの復調、ミュンヘン(ドイツ)はANAの最新機材B787のドイツ就航などの影響もうかがえる。また、出発日の希望は分散したが帰国日の希望は連休後半になればなるほど集中し、帰りの便が確保できるかどうかで予約の可否を決めそう。これから問合せを行う場合は、連休後半の帰国を避けた日程で予約確保の可能性が高そうだ。